

平成27年12月定例会 公社事業対策特別委員会の概要

日時 平成27年12月18日(金) 開会 午前10時 4分  
閉会 午後 0時 3分

場所 第9委員会室

出席委員 高橋政雄委員長  
須賀敬史副委員長  
宇田川幸夫委員、清水義憲委員、新井豪委員、土屋恵一委員、小林哲也委員、  
齊藤正明委員、菅克己委員、井上航委員、萩原一寿委員、村岡正嗣委員、  
木下博信委員

欠席委員 なし

説明者 [企画財政部]  
中原健一企画財政部長、土田保浩地域政策局長、山崎明弘改革推進課長  
竹島晃交通政策課長  
[産業労働部]  
加藤和男産業労働部副部長、岡田逸夫商業・サービス産業支援課長、  
碓井誠一産業労働政策課副課長、家田忠産業支援課副課長、  
北村学企業立地課副課長、白石直哉産業労働政策課主幹  
[埼玉高速鉄道株式会社]  
荻野洋代表取締役社長、武藤彰代表取締役常務、中島宗博取締役、  
清水匠総務部長、森本明人財務部長  
[公益財団法人埼玉県産業文化センター]  
相川博理事長、吉田幸司業務執行理事兼事務局長、  
石井義行総務部長兼事業企画部長兼施設担当、中村隆志利用・誘致推進部長、  
井沢昌行施設担当部長  
[公益財団法人埼玉県産業振興公社]  
織田秀明理事長、岩田靖人専務理事、赤沼康雄総務企画部長、  
増田文之取引振興部長、土肥弘幸企業支援部長、関根厚新産業振興部長

会議に付した事件

公社における改革の取組について  
埼玉高速鉄道株式会社  
公益財団法人埼玉県産業文化センター  
公益財団法人埼玉県産業振興公社

### 宇田川委員

- 1 埼玉高速鉄道株式会社について、増客・増収に向けた様々な新規事業が挙げられているが、これからをどのように考えているのか。
- 2 平成27年度以降に経常損益の黒字を見込んでいるが、現時点での達成見込みはどうなっているのか。
- 3 今後黒字を達成できた場合に、その利益をどのように使うのか。

### 埼玉高速鉄道（株）代表取締役社長

- 1 「発需要」と「交流需要」の2つを大きなターゲットとしている。「発需要」としては定住人口を増やしていくことを考えている。周辺の開発計画とリンクするため、開発に協力していきたい。地主を集めて、「勝手に浦和美園の開発を応援する会」なども発足した。

また、当社線区をお客様に利用していただく「交流人口」を増やしていくためには、沿線の観光を活性化することが必要である。鳩ヶ谷や浦和美園でまつりを開催するなど、街を知っていただく取組を実施しており、引き続き観光の発信をしていきたい。こうした「発需要」「交流需要」の取組を今後も全力で進めていく考えである。

- 2 就業規則の改正や契約の見直し等を行った結果、今年度上半期では8億7千万円の黒字となり、当初見込みより黒字額は増えている。
- 3 鉄道会社の特徴として、内部留保の確保が重要である。災害、事故、故障等の対応に費用が掛かるため、JR東日本や東京メトロは収入に対して7割、東武鉄道でも3割弱の内部留保を持っている。経営を安定させるためには内部留保が必要となるため、まずは、黒字を継続して内部留保を蓄積した上で、今まで恩恵にあずかった地元への還元を実行していきたい。

### 宇田川委員

運輸雑収も運輸収入と同時に伸ばしていく必要があると思うが、計画上で運輸雑収が伸びていない理由は何か。

### 埼玉高速鉄道（株）代表取締役社長

JR東日本では、運輸雑収と運輸収入の比率を1対1として目標にしているようだが、地下鉄はトンネルや駅が地下であるため活用できる資産が少ない。その中で、今あるものをフルに活用するため浦和美園駅構内へのコンビニの誘致や、鳩ヶ谷でも新規事業を計画している。一方で、車内広告については、南北線とセットで販売されているが、広告収入が東京メトロも含めて昨年度より約半分に減少している。東京メトロ系の会社と広告事業を進めているが、広告収入を増やすためにルールの変更も必要と考えている。欠点を直しながら資産の有効活用を進めていきたい。

### 清水委員

- 1 埼玉県産業文化センターについて3点伺う。施設利用率について、平成25年度と比較して平成26年度の実績が若干下がっている理由は何か。
- 2 施設利用率の目標値は平成25年度の実績を下回っているが、目標の設定が低いので

はないか。

- 3 平成26年度の主催コンサートの平均入場者数が、平成25年度を上回った要因は何か。

#### (公財) 埼玉県産業文化センター理事長

- 1 大ホールの利用率の実績については、平成25年度が特別に高かったため、ほぼ平常時の平成26年度が相対的に下がっている。これは、通常は利用率が下がる5月と8月にコンサートやイベントの利用が入り、いずれも100%となったことなどの特殊事情があったためである。
- 2 目標値については、過去10年間の利用率のデータを勘案し、あるべき姿の目標値を議論して設定したものである。これ以上の目標値を設定するためには、職員の増員等を考えなければならず、容易ではない。
- 3 平成26年の公演からインターネットでのチケット予約が可能となり、いつでもどこからでも購入できるようになったこと、また、人気の高い指揮者、ソリスト、曲目等を企画し、提供できたことなどが要因と考えている。今後も専門家の意見を取り入れながら、文化の振興に資するレベルの高い事業と人気の高い事業のバランスに配慮して事業を実施していきたい。

#### 清水委員

利用率の向上について、立地条件も良いことからできる限り高い目標を持って事業を実施していただきたい。(意見)

#### (公財) 埼玉県産業文化センター理事長

立地条件を生かして、全てはお客様のためだという理念の下、今後も事業を実施していく。

#### 村岡委員

- 1 埼玉高速鉄道株式会社について、事業再生ADRの実施に伴って様々な努力をされているが、安行ウォークや日光御成道まつりなどの主催者は自治体や商工会等であり、会社として主催することは難しいと思うが、どのように関わっていくのか。
- 2 駅によってはマンションも建ち終わっていて、これ以上は増えないと考えている。地域の開発などは自治体や民間事業者が実施するため、様々な情報を収集するとともに交流を続けていかなければ、事業計画どおり進まないと思うがいかがか。
- 3 職員の処遇について人件費抑制が非常に厳しくなっている一方で、要求水準は非常に高くなっている。安全性の確保は非常に重要だと考えるが、働く人達の安全へのマインドをどのように高めていくのか。
- 4 障害者の割引について、付添がいる場合は割引となるが、単独乗車の場合は割引が設定されていない。是非とも実施する必要があると思うがいかがか。
- 5 委託契約の方法について、専門性や継続性を理由とした随意契約が多いが、競争原理を働かせるために、どのように担保しているのか。
- 6 パスモ施策対応のための駅務システム改良工事について、毎年1億円から2億円くらいの委託費が支払われているが、毎年必要であるのか。
- 7 埼玉県産業文化センターについて、地域連携プライマリーコンサートはとてもいい事業であるため拡大した方がよい。平成26年度はさいたま市の14の小学校と中学校1

校の15校で実施し、平成27年度の事業計画でもさいたま市の小中学校15校で実施予定であるが、もう少し地域を広げて実施できないのか。

- 8 大ホールの施設について、利用者にとって使いやすいという評価は大事であると考えられる。控室のモニターが小さくカメラが固定されており、指揮者やソリストのアップを控室においても見たいという要望に応えられていない。また、音量も小さいとのことである。これらの施設整備についてどのように考えているのか。
- 9 埼玉県産業振興公社について、公社の定款に産業振興の推進とあるが、一部に特化するのではなく県内全ての地域並びに産業を対象としていると考えてよいか。
- 10 委託契約の調書に次世代住宅産業プロジェクト推進事業があり、内容は地中熱ヒートポンプの開発とあるが、公社としてどこまで関わっていくのか。

#### **埼玉高速鉄道（株）代表取締役社長**

- 1 街おこしのお手伝いをする中で、それぞれの地域には志のある人材が多くいることが分かり、結集して協力してくれている。そうした人材と当社において良い関係が築けており、今後もこうした活動を続けていきたいと考えている。
- 2 旅客の利用は6%伸びているが決して油断できない。人口減少傾向の影響や工事費の値上がりによりマンション建設も厳しい状況になっている。当社でも、開発を促進するために情報を発信していきたいと考えている。
- 3 社員の給与ベースは東京近郊の東葉高速鉄道等の三セク鉄道他社と同等の水準である。当社社員は経営再構築に一丸となって取り組んだ達成感があり、モラルは高いと考えている。
- 4 障害者割引については、東京メトロやJR東日本と同じ割引率の5割で考え方を合わせている。直通運転している関係で、単独での制度変更は考えていない。
- 5 当社でも、可能なものについては競争入札を実施しており、専門的な内容の案件について、やむを得ず随意契約としている。例えば、A社が作った設備については、A社に修繕を依頼せざるを得ない場合がある。そのような場合も東京メトロなど他社から情報を収集し適正な価格となるように努めている。
- 6 パスモのシステム改修については毎年1億円ほどの費用が掛かっている。これは、全国における新駅の開業などの都度、改修が必要となり全国のJRや民間の鉄道会社も同じ状況である。パスモの検知をするソフトの改修は必要であるため、やむを得ない費用であると考えているが、値下げ交渉はしていきたい。

#### **（公財）埼玉県産業文化センター理事長**

- 7 さいたま市の小中学校で実施しているプライマリーコンサートは、さいたま市との契約により実施している。これ以外にも知事公館や市町村施設、福祉施設等で5件、合計で20件実施しているが、地域を拡大して実施することについては日本フィルハーモニー交響楽団側の体制もあるため検討の必要がある。

#### **（公財）埼玉県産業文化センター利用・誘致推進部長**

- 8 モニターの画面サイズ、ズーム機能については今後検討していきたい。音量については、調整が可能であるため貸出内容に応じてきめ細かい対応をしていきたい。

#### **（公財）埼玉県産業振興公社理事長**

- 9 公社の定款についての質問であるが、県内企業は全国の産業構造に似ており生活関連

が少し多い状況である。産業の中身がどうかは問わず、特に300名以下の企業、事業所の98.7%を占めている中小、零細企業の強化に取り組んでいる。以前は、製造業が多かったが、サービス産業にも広げていきたい。現在、地方創生が課題となっているが中小企業が元気になれば、県、国も元気になると考えているので今後も産業の振興を推進していきたい。

- 10 地中熱ヒートポンプの開発は、先端産業創造プロジェクトのうち新エネルギー分野における一つのプロジェクトである。26の企業と3大学が参加して地中の熱を効率的に冷暖房に運用するシステムを目指す画期的なプロジェクトである。公社はその進行管理を担当しており、参加している26企業を中心に今後このシステムの事業化と集積を進めていきたい。

## 委員長

各委員及び執行部においては、質疑・答弁を簡潔に願います。

## 村岡委員

- 1 埼玉高速鉄道株式会社について、JR東日本や東京メトロ、首都圏新都市鉄道については、障害者の単独乗車の場合でも普通乗車券の5割引となっている。このことも踏まえて検討していただきたいと考えるがいかがか。
- 2 埼玉県産業振興公社について、成長する企業、頑張る企業の支援だけでなく、9割を占める中小企業全体の身近な相談相手となって底上げに取り組んでいただきたいと考えるがいかがか。

## 埼玉高速鉄道（株）代表取締役社長

- 1 他社が単独乗車で障害者割引を適用しているケースは、乗車区間が100キロメートルを超える場合である。当社の営業距離は14.6キロメートルと短く、条件に該当しないため導入の考えはない。

## （公財）埼玉県産業振興公社理事長

- 2 委員の意見はもっともである。公社では、小規模企業の支援を行うよろず支援拠点において昨年度は3,000件を超える相談を受けており、今年度はそれを上回っている。公社の役割の基本は、中小企業の持続的な成長発展に関する支援であると考えている。ただし、力のある企業に対しては、成長分野への支援にも力を入れていきたいと考えている。

## 萩原委員

- 1 埼玉高速鉄道株式会社について、鉄道は、安全に輸送するということが大前提であると考えている。開業から15年近く経過し、車両の更新が大事になってくると考えるがいかがか。
- 2 埼玉県産業振興公社について、産業振興公社では、今現在何人で対応し、どのような経験やスキルを持っているのか。
- 3 相談業務に関しては情報提供が重要であるが、情報はどのように収集しているのか。

## 埼玉高速鉄道（株）代表取締役社長

- 1 当社は開業14年であるため鉄道事業の基準からすると車体そのものはまだ古くな

いが、故障が出ることも考えられるため触覚鋭く注視して対応していきたい。

#### **(公財) 埼玉県産業振興公社理事長**

- 2 現在職員55名、アドバイザー77名の計132名で対応している。専門的な部分については職員ですぐに対応できない部分もありプロジェクトに応じてアドバイザーにて対応している。アドバイザーは、例えばよろず支援拠点では、企業経営者や中小企業診断士、IT化の経験をもった方など多様である。また、先端産業、次世代自動車や航空宇宙の分野については、大企業の研究所のOBなどを配置している。
- 3 現場、現物を見て現実を知る3現主義を徹底し、企業に直接赴いて情報を収集するとともに、アンケートを実施し事業の先行きや課題を把握している。また、アンケート結果は、県の施策に反映できるようにしていきたい。

#### **萩原委員**

企業の海外展開について、どのように情報収集し支援しているのか。

#### **(公財) 埼玉県産業振興公社理事長**

海外展開支援については、海外展開支援ありきではなく、企業の段階に応じた支援を行っている。県内企業に対して行ったアンケートでは、今後の海外展開先としては、アメリカが33.6%と急が増えておりTPPの影響もあるのではないかと考える。また、アジアの中国、ベトナム、タイなど県のサポートセンターの現地コーディネーターを通じて情報収集や支援をしている。

#### **菅委員**

- 1 埼玉高速鉄道株式会社について、乗車率の推移を教えてください。
- 2 ヨーロッパやアメリカは上下分離の鉄道事業者がほとんどであり、東京都、千葉県、横浜市の交通局も上下分離するような仕組みを作っている。埼玉高速鉄道も上下分離の形を作り出していくべきだと思うがいかがか。
- 3 借入金の償還期間を30年から50年としているが、全てを50年としているのではなく一部分であると思うが、比率はどうなっているのか。その他のものはどうか。
- 4 工事等で発注者が工事に立ち会う立会施工から立ち会わない責任施工に順次拡大することのだが、安全性を担保できるのか。JRや私鉄各社においても同様の対応であるのか。
- 5 埼玉県産業文化センターについて、ビル事業収益の約6億8,400万円は、オフィスの賃貸料金であるのか。その場合、オフィスの空き状況はどうなっているのか。
- 6 埼玉県産業振興公社では、平成24年度に人件費補助が4億円であったが、平成26年度には事業費に補助が割り振られているため2.5億円になっている。人件費補助は全体としてどのような状況であるのか。
- 7 TPPが合意に至り、知的財産分野の重要性が高まっているが、公社では相談件数が伸びている中で現在の職員体制で十分に対応できるのか。

#### **埼玉高速鉄道(株) 代表取締役社長**

- 1 乗車率は20%程度で乗車率自体は高くはないが、ポテンシャルは高いと考えている。
- 3 事業再生ADRに際して償還期間を30年から50年に延ばした借入額は鉄道運輸機構からの473億円である。

- 4 JRや私鉄各社においても立会施工ではなく責任施工が中心となってきている。JR東日本は約20年前から導入しており、安全性は担保されている。

#### 企画財政部長

- 2 これからの鉄道整備は非常に厳しいことが予想されている。これまでの高度成長期の中で地域開発等を含めて鉄道整備がされた民間の鉄道会社と違い、第三セクターで整備する場合、鉄道そのものの経営収支が非常に重要になる。SRを整備する際にも問題になっていたが、国庫補助が非常に低く県からの出資貸付も含めて多大な外的支援を受けないと鉄道整備ができないという状況である。県営や都営でというお話もあったが、公営で行う場合にも一定の線引きがあり、全て一般会計から繰り出しできるわけではない。まずは、利便増進法なども含めて鉄道整備の際は国庫補助を手厚くしていただくことが大前提になると考えている。

#### (公財) 埼玉県産業文化センター理事長

- 5 ビル事業収益は、会議室、展示場、テナントの賃貸収入であり、テナントの空き室状況については現在満室となっている。

#### (公財) 埼玉県産業振興公社総務企画部長

- 6 人件費の推移については、平成24年度が71名で3億6,900万円、平成25年度が69名で3億4,800万円、平成26年度が68名で3億5,500万円となっている。

#### (公財) 埼玉県産業振興公社新産業振興部長

- 7 公社においては、職員5名のほか、知的財産分野に精通した知的財産総合アドバイザー及び知財普及員が合計9名在籍して業務に当たっている。職員とアドバイザーが連携して知的財産に関する総合推進を図っている。

#### 菅委員

- 1 473億円分の借入金を50年の償還期間に延長しているとのことだが、償還期間が短い借入金もあるのではないかと。政府系の金融機関で期間を延長できたのであれば、民間の金融機関でも可能ではないかと考えるが、民間の金融機関に対してどのような働き掛けをしているのか。
- 2 アドバイザーが在籍しているのは認識しているが、現状で十分な対応ができているのか伺いたい。

#### 埼玉高速鉄道(株) 代表取締役社長

- 1 県と2市から借り入れている約100億円は、平成67年度までの償還期間で、純粋な民間金融機関からの借入は、全て県と2市で損失補償しており、残る日本政策投資銀行の27億円も償還期間は長く、短い期間の借入金はない。

#### (公財) 埼玉県産業振興公社理事長

- 2 公社は知財センターも含めて種々の相談にワンストップで応じている。知財以外の内容に関連する相談も多いので、ほかの支援センターとも連携して対応している。知的財産に関する内容でより専門的、実務的なものについては、弁理士、弁護士の相談も行う

ている。現状ではギリギリのところもあるが、十分に対応できていると考えている。